

自衛隊体育学校

アジア大会 (9.19 ~ 10.4) 応援特別号

金メダル獲得

大会新記録で優勝

15世界陸上出場内定



アジア大会開幕
10月4日、韓国仁川市で9月19日から行われていた第17回アジア競技大会が閉幕した。自衛隊体育学校からは23人の選手が参加し、陸上50km競歩で谷井孝行2等空曹が金メダル、レスリング男子グレコ80kg級鶴巻幸1等陸尉、水泳男子400m自由形リレー原田蘭丸2等海尉、フェンシング男子エペ団体坂本圭右2等陸曹、近代五種男子団体(三口智也3等陸曹、藤井真也3等陸曹、岩元勝平3等陸曹)、近代五種女子団体(伊谷温子2等海曹、山中詩乃3等陸曹、島津玲奈3等陸曹)等の銀メダル5個、レスリング男子フリー61kg級高塚紀行2等陸曹、ボクシング男子ライトウェルター級川内将嗣2等陸尉、近代五種男子個人岩元勝平3等陸曹、ライフル射撃男子50m3姿勢120発団体(山下敏和1等陸尉、松本崇志2等陸尉、谷島緑2等陸曹)等の銅メダル4個、合計10個のメダルを獲得した。

陸上競歩
谷井孝行2等空曹はスタートからトップに立ったが、16km過ぎて、最大10秒離れていた山崎勇喜3等陸尉が追いつき、自衛隊体育学校同士の熾烈なトップ争いが展開する。30km過ぎから谷井がスパート、山崎を振り切って独走状態に。遅れ始めた山崎は歩形で警告を受け始め、45km過ぎには失格となった。谷井はペースを落とすどころか、後半になるとますますスピードを上げ、自己記録を1分以上も縮める3時間40分19秒の大会新記録でゴール、陸上競技最初の金メダルをもたらした。この優勝により、谷井は、リオ・オリンピック出場権がかかる来年度の世界選手権代表に内定した。谷井はリオに間違いなく一歩近づいた。



アジアを制覇した谷井2空曹

体校メダル10個大活躍



鶴巻1尉



高塚2曹



川内2尉

レスリング

レスリング男子グレコ80kg級鶴巻幸1等陸尉は準決勝でアジア選手権王者を下したが、決勝では強豪のイランに惜しくも敗れ、2大会連続の銀メダル。階級を上げ減量の負担が少なくなった分、自分のレスリングができたことが大きかった。2006年世界3位の実績を持つレスリング男子フリー61kg級高塚紀行2等陸曹は、8年ぶりのアジア大会であったが、前に出て行くしつこいレスリングで難敵を倒し、銅メダルを獲得。

ボクシング

ボクシング男子ライトウェルター級川内将嗣2等陸尉約2年半ぶりの国際試合となったが、1回戦から世界5位の強豪と対戦。だが、以前よりも心身ともに一回り成長を遂げた力強いボクシングで快進撃。準決勝で地元韓国選手に判定負けとなったが、試合内容を含め川内がパワーアップして復活したことを印象つけた銅メダル獲得となった。

近代五種

女子は伊谷温子2等海曹がフェンシングで頑張り、島津玲奈3等陸曹が水泳で4位に加えて他の種目も取りこぼしなく踏ん張り、フェンシングで出遅れた山中詩乃3等陸曹は得意のコンバインドで種目2位。ミスが少なくバランスよく粘った結果、団体銀メダルにつなげた。女子の活躍に触発されたのか、男子は最初のフェンシングから粘りを見せ、大荒れとなった馬術で、岩元勝平3等陸曹が1位となり、藤井真也3等陸曹も三口智也3等陸曹も健闘。岩元はコンバインド5番目のスタートとなったが、2人を抜き3位銅メダル。近代五種史上初のメダルとなった。団体も、前大会の銅からランクアップ、準優勝、銀メダルを獲得。今回の男女の活躍は日本近代五種の新しい時代の幕開けを告げるものになるだろう。



坂本2曹 藤井3曹 三口3曹 岩元3曹 伊谷2海曹 山中3曹 島津3曹

金1銀5銅4